

# あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想



道庵橋から目久尻川の北を望む

令和2年3月

綾瀬市教育委員会

## 目 次

1. 構想策定の目的 .....	1
2. 構想の位置づけと構成 .....	2
(1) 構想の位置づけ.....	2
(2) 構想の構成.....	2
3. 構想の期間 .....	2
4. 構想の対象エリア .....	3
5. 歴史文化ゾーン形成の視点からみた目久尻川流域の現状と課題 .....	4
(1) 歴史文化ゾーンの形成.....	4
(2) 歴史文化ゾーン形成の視点からみた現状.....	6
(3) 歴史文化ゾーン形成の視点からみた課題.....	19
6. 構想の基本方針と歴史文化ゾーンの基本コンセプト .....	21
(1) 構想の基本方針.....	21
(2) 歴史文化ゾーンの基本コンセプト.....	22
7. 歴史文化ゾーン構想計画 .....	22
(1) 段階計画.....	22
(2) 期別の方向性と主要施策.....	23
8. 構想の推進体制 .....	33
9. 構想の全体図 .....	34
10. 期別の方向性と主要施策 .....	35
11. あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想策定経過 .....	36
12. 目久尻川文化ゾーン構想推進会議委員 .....	37

## 1. 構想策定の目的

市内を南北に流れる目久尻川流域には、「故郷 綾瀬の原風景」とも言える風景・景観が広がっている。その「故郷 綾瀬の原風景」は時代の流れ、経済社会環境の変化とともに姿を変えながらも、目久尻川流域住民の様々な暮らしの中で受け継がれ、育まれてきたものである。人が住み、暮らし、農を中心とする生業があってこそ形づくられてきたものと言える。

こうした目久尻川流域には、歴史文化の保存・継承、生活文化の継承・発展に関わる様々な地域組織が存在している。これらの地域組織や目久尻川流域の原風景を受け継ぎ、育んできた人々の心の拠り所、人々の地域伝統行事への関わりをとおした郷土心の拠り所となってきた事物・事象など、目久尻川流域には多様な文化財が残されている。約4万年前の県内最古級となる石器群が出土された吉岡遺跡群。弥生時代の環濠集落である国指定史跡神崎遺跡。県指定史跡早川城跡や徳川三代将軍の乳母である春日局ゆかりの済運寺。明治時代に横須賀の軍港施設の拡充・強化による用水不足により敷設された横須賀水道をはじめとする多くの文化財などが、原風景を構成する田畑や斜面林とともに目久尻川流域に広がっている。

本構想の目的は、これらの歴史文化資源を生活文化資源等とともに生かし、目久尻川流域を「歴史文化ゾーン」として形成し、もって地域住民が誇ることができる郷土づくりにある。「住んで良し、訪ねて良し」という言葉が、魅力ある地域づくりの標語として掲げられることがある。これは「住民が誇りを持ち、住んで良かった」と思うことができるような地域こそが、区域外から訪ねてみたくなる地域であるという意味である。地域外から訪問した人々が興味を持ち、周囲に伝えたくなるような「魅力あるまち」を目指し、それをさらに交流人口の増加など、地域活性化につなげる。

目久尻川流域に広がる歴史文化資源を、その原風景や生活文化資源とともに生かし、歴史文化資源を核とした地域の誇りづくりを推進することで、持続可能な地域の活性化と、交流促進につなげていくことを「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想」策定の目的とする。

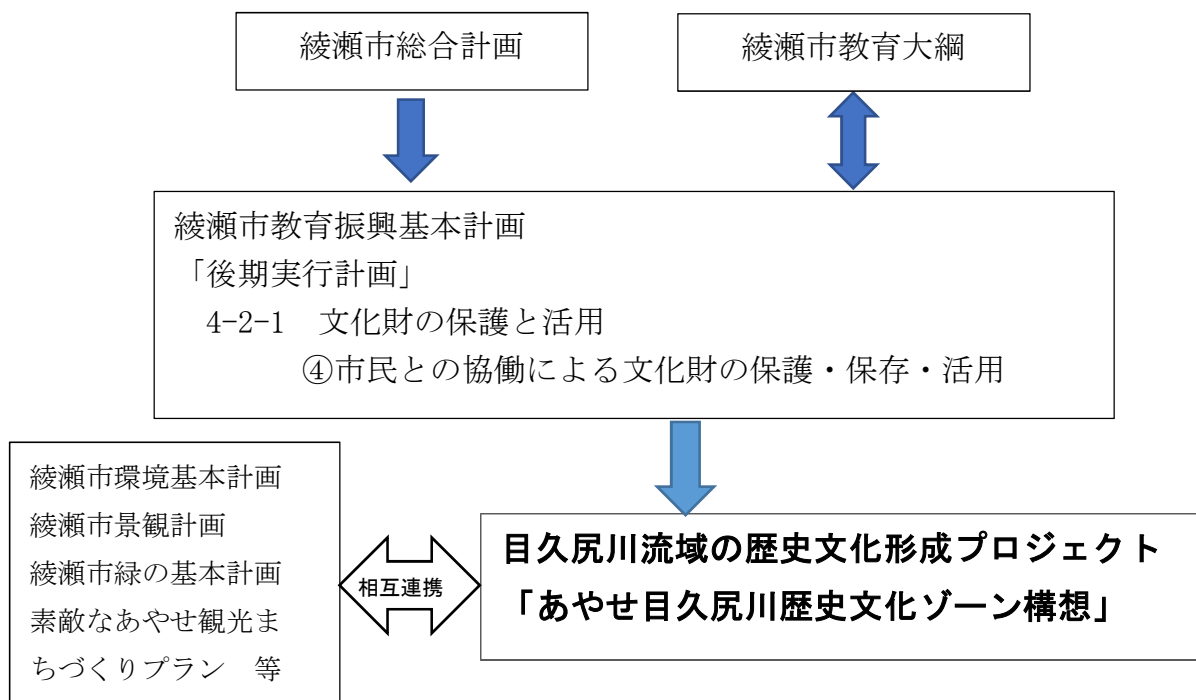
## 2. 構想の位置づけと構成

### (1) 構想の位置づけ

あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想は、綾瀬市総合計画の個別計画に位置付けられた綾瀬市教育振興基本計画「後期実行計画」の施策を推進するため、策定した構想です。

また、構想を具現化するため、綾瀬市環境基本計画、綾瀬市景観計画、綾瀬市緑の基本計画、素敵なあやせ観光まちづくりプラン等との連携・強化を図りながら施策の実現に取り組みます（図表1）。

図表1 構想の位置づけ



(注) 綾瀬市総合計画および綾瀬市教育振興基本計画は、令和2年度が計画最終年度になることから、令和3年度からの新計画に整合性を図り推進する。

### (2) 構想の構成

構想は、あやせ目久尻川歴史文化ゾーン形成の視点からとらえた「現状と課題」「基本コンセプト」「構想計画」から構成する。

## 3. 構想の期間

構想の計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間とする。

#### 4. 構想の対象エリア

構想の対象エリアは、目久尻川流域において、固有の歴史文化系の人文資源や自然資源、人文資源および自然資源から構成される複合的な資源と言える原風景、そして生活文化資源が存在するエリアとする。

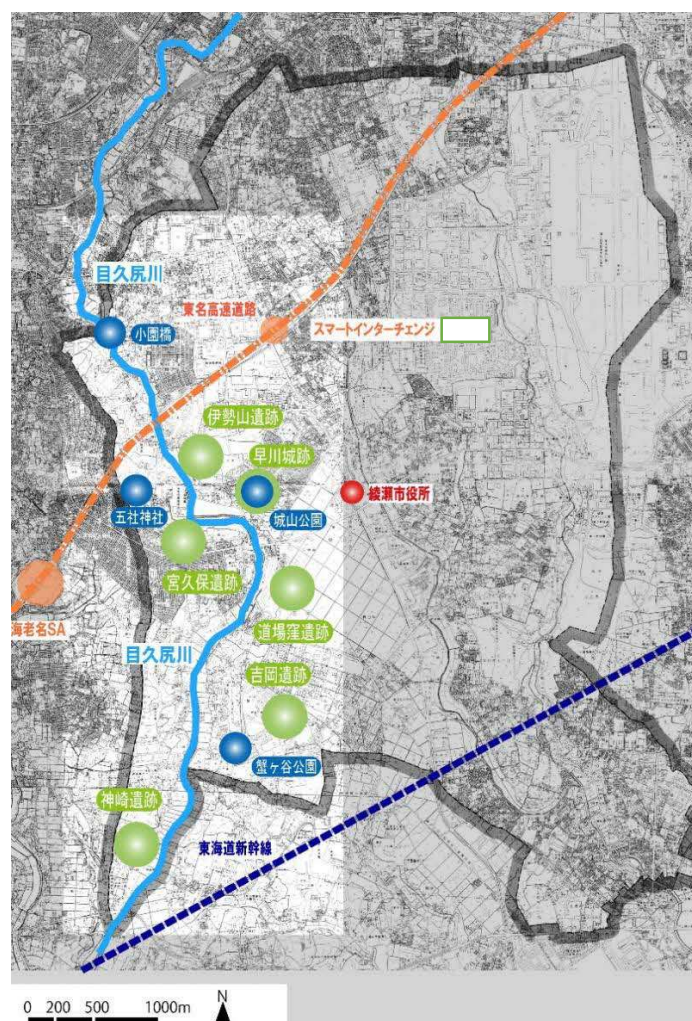
地理的にとらえると、目久尻川を南北の「軸」として、小園・小園南、早川・早川城山、綾西、吉岡・吉岡東地区を主たる対象エリアとする（図表2）。

ただし、「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン」を形成する上で、

- ・他の地域資源との結びつけを図り、とりわけ市外からの来訪者による市内の回遊を促進する必要性
- ・整備が進むスマートインターチェンジからの誘導や「道の駅」との相乗的な利用を促進する必要性

これらを考慮し、市内外などの他地区も視野に入れることとする。

図表2 構想の主たる対象エリア



## 5. 歴史文化ゾーン形成の視点からみた目久尻川流域の現状と課題

### (1) 歴史文化ゾーンの形成

「歴史文化ゾーン」形成という視点から目久尻川流域にみられる人文資源および自然資源を取り上げると、図表3のように整理できる。総じて目久尻川流域では歴史文化系の資源が多い。そうした一方、目久尻川流域周辺ではカワセミやアオサギなど多種の野鳥が舞う姿を見ることができ、地形的に湧水を源として発する池沼・小河川、そして季節ともなるとホタルが飛び交い、鮎が泳ぐ姿を見ることができる。行催事も地蔵堂で花祭り、駒井不動では不動尊祭りが催されている。最近では神崎遺跡公園で十五夜、十三夜などのイベントも行われ、地域の歴史や伝統の掘り起こしが進められている。さらにこうした資源のほかにも、お囃子・踊り・講組織など、生活文化に関わる伝統的な資源もみられる。

図表3 目久尻川流域にみられる人文資源および自然資源

#### <主な人文資源>

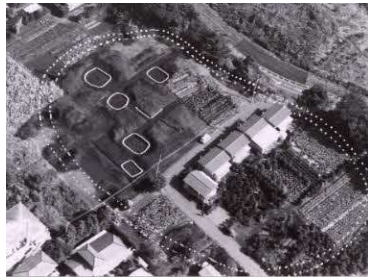
分類	名称	保全・活用を図る上での留意事項等
墓	お銀さまの墓 寺子屋師匠の墓	三河国田原藩主三宅康友、渡辺崋山 地蔵堂を校舎とする寺子屋の師匠
小祠	小園地蔵堂 駒井不動 豊川稲荷 第六天神社 江川天神社	木造地蔵菩薩像、市指定文化財、花まつり 上吉岡の不動堂、不動信仰、不動尊祭り 吉岡の根恩馬地区の鎮守 夫婦神 祭神菅原道真、平宰相成輔
寺院	長泉寺 済運寺 龍洞院 正福寺	渋谷氏一族の菩提寺、曹洞宗 臨済宗、春日局館跡 曹洞宗 浄土宗、本尊阿弥陀如来像
神社	小園子之社 五社神社  神明社 山王社	大国主命、市指定文化財、本殿の造り 日本武尊腰掛石、市指定文化財、 綾瀬の中心的神社、本殿建築様式の特徴、椎の大木 祭神天照大神・豊受大神、春日局 市内最古の不動尊像
旧街道・道路・家並み	古東海道 峰通り 春日道（春日原）	渡辺崋山も利用、お伊勢宮の森 横浜道（神奈川道） 江戸赤坂につながる道として伝えられている

	横須賀水道  サイクリング道路	【半原系統】横須賀水道路 明治時代に横須賀の軍港施設の拡充・強化による用水不足により敷設された、愛川町半原水源地から横須賀市逸見浄水場まで約 53 kmの横須賀水道を活用した道路 【有馬系統】 昭和 10 年以降富国強兵の国策によって海老名市有馬社家から取水し横須賀軍事施設へ導水 目久尻川沿いのサイクリングロード
橋	小園橋 虚空蔵橋  道庵橋 武者寄橋	渡辺峯山も利用、河童の石像 藤沢道、虚空蔵橋菩薩像がこの橋の所に上がったことから名付けられた 徳川家光に仕えた典薬医半井驢庵が通った橋 中世 緊急時、武者が集まったといわれる橋
城跡	早川城跡	県・市指定文化財、渋谷一族ゆかり、湧水とホタル
史跡	宮久保遺跡 吉岡遺跡群 神崎遺跡	県指定文化財 県指定文化財、県内最古の旧石器時代の石器 国指定史跡・県指定文化財、環濠集落、歴史公園整備、資料館併設
公園等	蟹ヶ谷公園  小園広場 小園橋下流親水広場 みはらし広場	湿地公園（周辺の水田で綾瀬酒米生産(あやせ名産品))、富士山・丹沢・箱根等の眺望 お銀さまの墓の隣 対岸に日時計 神崎遺跡と目久尻川をつなぐ。新幹線通過の眺望地点

### <主な自然資源>

分類	名称	備考
動植物	笠間家のギンモクセイ  五社神社の椎の大木 城山公園遊水池 目久尻川および周辺  目久尻川	かながわの名木 100 選(市指定)、樹齢 130 年、9 月下旬～10 月上旬 御神木(市指定)、樹齢 400 年 ホタル カワセミ、アオサギ、マガモ、ヒヨドリ、モズ、コゲラ、セキレイ等の野鳥 鮎、鯉
湧水池・湧水河川	尾の井 清水 清水川及び下流東根用水路	高所でも水が枯れない、雨乞い 城山公園下 ワサビ田





神崎遺跡

## (2) 歴史文化ゾーン形成の視点からみた現状

各種資料および現地調査に基づき、目久尻川周辺の歴史文化資源、自然資源等について、カルテNo.01～No.20で整理を行った。

ここでは資源の概要を整理するとともに、アクセス環境や滞在環境、資源の保全管理の現状についてまとめている。

※カルテ：目久尻川沿地域の主要な歴史文化資源・自然資源カルテ（その1～その4）なお、目久尻川の護岸部、側道部、河川に隣接して設置された街区公園や近隣公園について、その整備状況をカルテNo.21～No.28にまとめた。

### ■カルテ：目久尻川護岸部・側道・隣接公園等の環境カルテ（その1～その2）

#### ●目久尻川流域の主要な歴史文化資源・自然資源カルテ その1

資源No 名称 資源タイプ [所在地/位置]	資源概要	活用の現状 対応写真番号	アクセス 環境 (駐車場等)	滞在環境 保全・管理 の現状	課題・備考
No.01 小園橋 歴史文化資源 伝説 [小園] [小園橋0 m]	○江戸時代の画家・蘭学者田原藩家老として知られる渡辺華山による相模小旅行の絵入り紀行文『游相日記』に登場、村民が華山を見送ったとされる。 ○目久尻川に伝えられている河童伝説にちなみ、3匹の河童の像が設置されている。	○文化財説明板が設置。 ○河童像の設置 ○綾瀬市史跡ガイドボランティアの会による散策の会を開催。 ※写真番号①	駐車場 × バス停 小園・小園 団地入口	河童の像は、目久尻川沿いであり、安全性は確保されている。ベンチ、トイレ等は整備されていない。	綾瀬市の北の入口に当たる。ロケーションや、多様な由緒・伝説があり魅力的な場所であるが、現状では、拠点になっていない。



<p>No. 02 <u>小園子之社・お伊勢宮の森周辺</u></p> <p>歴史文化資源 古道 伝説 遺跡</p> <p>[小園] [小園橋 250 m]</p>	<p>○お伊勢宮の森の方から、古東海道と伝承される道とされる。</p> <p>○子之社本殿等は市指定文化財。</p> <p>○周辺には「寺小屋師匠の墓」等の文化財がある。</p>	<p>○「古東海道」の文化財説明板の設置。ただし、文字が読みにくい部分がある。</p> <p>※写真番号②</p>	<p>住宅地内にあり、目久尻川から分りにくい。</p> <p>駐車場 × バス停 小園</p>	<p>森の中にベンチ等が配置された静かな森林公園。</p> <p>古東海道は、倒木や藪に覆われている。</p>	<p>古東海道の場所がわかりにくい。</p> <p>公園としての居心地の良さや快適性といった点で工夫の余地がある。</p>
<p>No. 03 <u>小園地藏堂</u></p> <p>歴史文化資源 神社仏閣</p> <p>[小園] [小園橋 250 m]</p>	<p>○正式名称は東光山延命寺で、相模国分寺の隠居寺といわれている。</p> <p>○本尊(木造地藏菩薩坐像)、厨子(江戸時代に三代将軍徳川家光の母から寄進)、釈迦涅槃像、回り地藏がある。</p>	<p>○看板、文化財説明板の設置。</p> <p>○地元で小園地藏堂保存会が組成され、管理、清掃、花まつり等イベントを実施している。</p> <p>※写真番号③</p>	<p>住宅地内道路沿いにあり、分りやすくバス停も近い。</p> <p>駐車場 × バス停 小園団地入口</p>	<p>保存会により、維持管理されているが、一部は老朽化している。</p> <p>内覧は事前予約が必要。</p>	<p>厨子等一部の文化財は、修理等の時期がきている。</p>
<p>No. 04 <u>長泉寺</u></p> <p>歴史文化資源 神社仏閣</p> <p>[早川] [小園橋 400 m]</p>	<p>○長泉寺は曹洞宗の寺。渋谷氏一族の菩提寺と伝えられている。</p> <p>○渋谷氏の供養塔と伝えられている中世石造物が残っている。</p>	<p>○寺主催で、写経会や落語会が開催されている。</p> <p>※写真番号④</p>	<p>文化財説明板等はないが、アクセスは容易。</p> <p>駐車場 ○ バス停 国分寺台第3</p>	<p>寺により維持管理されている。</p>	<p>周辺の第六天神社の祭神は、 おもだるのみこと 面足尊・ かしこねのみこと 惶根尊の夫婦神といわれている。</p>

カルテ写真①



河童伝説に由来する愛嬌のある河童像



「小園橋」の説明板

カルテ写真②



古東海道（右は説明板）

カルテ写真③



地元の小園地藏堂保存会により維持管理されている

カルテ写真④



長泉寺 の山門



定期的に写経会や落語会が開催されている。

●目久尻川流域の主要な歴史文化資源・自然資源カルテ その2

資源No 名称 資源タイプ 〔所在地/位置〕	資源概要	活用の現状 対応写真番号	アクセス 環境 (駐車場等)	滞在環境 保全・管理 の現状	課題・備考
No. 05 <u>虚空蔵橋～龍洞院</u>  歴史文化資源 古道 神社仏閣  〔早川〕 〔虚空蔵橋 150m〕	○藤沢道が通っていたとされる。 ○虚空蔵橋は『綾瀬村風土記』にも記載あり。昔、大水が出た時に、虚空蔵菩薩が目久尻川を流れてきてひっかかったのを持ち上げたとの伝説がある。 ○地蔵講が行われている。	○文化財標柱が設置。  ※写真番号⑤	虚空蔵橋周辺には駐車場はない。  龍洞院の墓苑には駐車場あり ○  バス停 早川	虚空蔵橋付近の壁面に落書きがある。	龍洞院は、元々虚空蔵院と呼ばれていたという伝承がある。
No. 06 <u>五社神社</u>  歴史文化資源 神社仏閣  〔早川〕 〔虚空蔵橋 600m〕	○祭神は天照大神など五柱の神々。境内には「日本武尊腰掛石」がある。 ○鎌倉時代には渋谷庄と呼ばれたこの地域の総鎮守と推察。 ○本殿・棟札と御神木の「椎の大木」は市指定文化財。	○現在も綾瀬市域の中心的な神社。 ○「尾ノ井」(飲み水や灌漑に使われていた池)や御神木等の説明板の設置。 ※写真番号⑥	駐車場 ○  バス停 国分寺第7	地域の中心的な神社にふさわしい管理がされている。	

<p>No. 07 宮久保遺跡</p> <p>歴史文化資源 遺跡 〔早川〕</p>	<p>○今から 1300 年程前の集落跡。古代末から中世（鎌倉）の建物遺構。なかでも注目されるのは井戸跡で、周辺には玉石が敷き詰められた井戸をつくるため文字が書かれた板・木簡が出土している。</p>	<p>○学校敷地内のため、一般の立入が難しい。 ○出土品は別途保管。</p>	<p>駐車場 × バス停 瀬端橋</p>		<p>綾瀬西高校建設に伴い発掘された旧石器時代から近世にかけての遺跡。</p>
<p>No. 08 城山公園（早川城跡）</p> <p>歴史文化資源 史跡 〔早川城山〕 〔目久尻川沿い〕</p>	<p>○中世の山城跡で、鎌倉時代の御家人渋谷一族ゆかりと伝えられている。 ○目久尻川側（西側）の山麓部は、湿地帯や池を中心とした庭園等として整備。 ○山城跡（県指定）、奈良三彩小壺（市指定）。 ○面積 6.64ha</p>	<p>○綾瀬市の中心的な都市公園として、市民のレクリエーション利用の拠点となっている。 ※写真番号⑦</p>	<p>幹線道路沿（北東側）のメインゲートと、目久尻川沿（西側）のゲートが整備。 駐車場 ○ バス停 城山公園</p>	<p>市民のレクリエーション拠点として、施設整備など適切な管理がされている。 文化財説明板の管理があまりされていない。 遺構がわかりにくい。</p>	<p>本構想の拠点施設（資源）のひとつとして位置づけられる。  旧石器から中世にかけての遺跡。</p>
<p>No. 09 江川天神社</p> <p>歴史文化資源 神社仏閣 〔早川〕</p>	<p>○祭神は菅原道真と平宰相成輔。 ○合格祈願、学業成就等のご利益を求め、参拝がある。</p>	<p>○市のガイドブック（ウォークガイド）等に紹介されている。</p>	<p>駐車場 × バス停 武者寄橋</p>		<p>小田原市早川と同じ地名のため、平宰相成輔が祀られた。</p>



カルテ写真⑤



虚空蔵付近（右は説明標柱）

カルテ写真⑥



綾瀬市の中核的な神社らしく風格ある社や社林で形成されている（五社神社）

右上は、日本武尊が使ったとのいわれがある腰掛石

カルテ写真⑦



市民のレクリエーション拠点として定着している様子がうかがえる早川城跡（城山公園）

●目久尻川流域の主要な歴史文化資源・自然資源カルテ その3

資源No 名称 資源タイプ 〔所在地/位置〕	資源概要	活用の現状 対応写真番号	アクセス 環境 (駐車場等)	滞在環境 保全・管理 の現状	課題・備考
No. 10 <u>わさび田</u>  自然資源 農地  〔吉岡〕 〔吉野橋 50m〕	○湧き水が流れ出す恵まれた環境が、わさび田として活用されている。 ○6月ころは、ホテルの観察場所ともなっている。	○わさび田の対岸の民間敷地から望む。  ※写真番号⑧	駐車場等は整備されていない。  駐車場 × バス停 宮際		栽培用の農地であり、一般利用が想定されていない。
No. 11 <u>済運寺、神明社</u>  歴史文化資源 古道 社寺仏閣  〔吉岡〕 〔岡野橋 200m〕	○済運寺は臨済宗の寺院。江戸時代初め、吉岡村は春日局の所領となった。春日局の館跡と伝えられ、それに関する資源がある。 ○神明社は、春日局勸請と伝えられる。 (祭神は、天照大神、豊受大神)	○一般利用を想定したアクセスや文化財説明板が設置されている。  ※写真番号⑨	それぞれ駐車場の整備がされている。  駐車場 ○ バス停 国分寺台第11	済運寺は参拝用トイレ等の整備がされている。	済運寺は鎌倉建長寺の末寺。  神明社に「たたくと幸福になる」太鼓がある。
No. 12 <u>道場窪遺跡</u>  歴史文化資源 遺跡 〔吉岡〕	○縄文時代中期の竪穴住居址が28軒と、まとまって見つかった。 (縄文中期の環状集落跡)	○現在、市リサイクルプラザの敷地で遺構は分からない。 ○出土品は別途保管			リサイクルプラザ建設に伴い発掘された遺跡。 市内一大きい大形土器(70cm)。 今後の学術調査次第では市指定文化財の可能性あり。
No. 13 <u>正福寺</u> <u>山王社</u> <u>駒井不動</u>	○正福寺：小田原北条氏家来の加藤伝太郎弘信が開基。 ○山王社：祭神は大山 <small>くいのかみ</small> 咋神。	○正福寺：浄土宗 ○山王社境内には市内最古の不動	正福寺に墓参り用の駐車場はある。		

歴史文化資源 神社仏閣 〔吉岡〕 〔村野橋 100 ～200m〕	○駒井不動：三軒庭・駒井庭の講中が勧請した大山不動。吉岡は元々不動信仰が盛ん。	動尊石像がある。 ○駒井不動で毎年8月下旬に不動尊祭りが開催されている。			
No. 14 <u>道庵橋</u>  歴史文化資源 古道  〔吉岡〕 〔道庵橋 0m〕	○3代将軍徳川家光に仕えた典薬医半井驢庵が通ったとされる橋。 ○古道大山道の一部を形成する。	○文化財説明板がある。  ※写真番号⑩	駐車場等は整備されていない。  駐車場 ×	周辺は、資材置き場にトタン扉が設置されるなど、景観が混乱している。	
No. 15 <u>豊川稲荷</u> <u>浪乗り不動</u>	○吉岡の根恩馬地区の鎮守で、天保7年（1836）年の勧請棟札が伝えられている。 ○浪乗り不動は、豊川稲荷の境内にあり、船に乗った不動で、昔は目久尻川に入れて雨乞いをした。	○文化財説明板がある。	駐車場等は整備されていない。  駐車場 ×		

#### カルテ写真⑧



清潔な湧き水を生かして、清水川沿いに整備されたわさび田。

良好な自然環境は散策等に好適と評価されるが、個人が管理しているため調整が必要。



カルテ写真⑨



春日局の館があったといわれ、それに因む位牌と品物が残されている濟運寺。墓参用の公衆トイレ等が整備され、滞在環境が比較的整っている。

右は鎮座四百年の歴史があるとうたわれている吉岡神社。

カルテ写真⑩



道庵橋付近

●目久尻川流域の主要な歴史文化資源・自然資源カルテ その4

資源No 名称 資源タイプ 〔所在地/位置〕	資源概要	活用の現状 対応写真番号	アクセス 環境 (駐車場等)	滞在環境 保全・管理 の現状	課題・備考
No. 16 蟹ヶ谷公園  自然資源 湿生園  〔吉岡〕 〔道庵橋 500m〕	○起伏を活かして整備された公園で、高台からは富士山や箱根・丹沢等の山並みを一望可能。 ○芝桜や湿生園のハナショウブ等の季節の花を楽しめる。 ○面積 3.3ha	○自然を楽しむ市民やカメラマン等によって利用されている。  ※写真番号⑩	トイレ・ベンチ・水道等が整備されている。  駐車場 ○  バス停 女坂	都市公園として充実した滞在環境が整備されている。	本構想の拠点施設（資源）のひとつとして位置づけられる。

<p>No. 17 吉岡遺跡群</p> <p>歴史文化資源 遺跡</p> <p>〔吉岡〕</p>	<p>○旧石器時代から近世までの複合遺跡。現在までに、県内最古である約4万年前の石器や約2km離れた用田の石器と接合した約2万3千年前の石器（県指定）が出土している。</p>	<p>○現在の綾瀬浄水場の敷地内になるので一般に開放されていない。遺物は県保管。</p>	<p>蟹ヶ谷公園に隣接</p> <p>バス停 女坂</p>		<p>綾瀬浄水場の建設に伴い発掘された遺跡。</p>
<p>No. 18 豊川稲荷</p> <p>歴史文化資源 神社仏閣</p> <p>〔吉岡〕 〔道庵橋 500m〕</p>	<p>○吉岡村の根恩馬地区の鎮守。1836年の勧請棟札と伝えられている。</p> <p>○境内にある浪乗不動は、舟に乗った不動で、昔は雨乞いのため目久尻川に入れて祈りをささげたとされる。</p>	<p>○文化財説明板が設置されている。</p>	<p>駐車場等は整備されていない。</p> <p>駐車場 ×</p>		
<p>No. 19 神崎遺跡</p> <p>歴史文化資源 遺跡</p> <p>〔吉岡〕 〔用田橋 300m〕</p>	<p>○約1800年前の弥生時代後期の環濠集落の遺跡で、国指定文化財である。</p> <p>○東海地方の人々が移住した。</p> <p>○出土した土器や鉄器は、県指定文化財であり、弥生時代後期のムラの様子を知ることができる。</p>	<p>○遺跡公園として整備され、資料館では出土した土器・金属器（県指定）や弥生時代のムラについて知ることができる。また、資料館内で映像等を駆使した設備が付帯されている。</p> <p>※写真番号⑫</p>	<p>公園と資料館が一体となった公園で、駐車場が整備されている。</p> <p>駐車場 ○</p> <p>バス停 神崎遺跡前 根恩馬</p>	<p>歴史公園として充実した滞在環境が整備されている。</p>	<p>本構想の拠点施設（資源）のひとつとして位置づけられる。</p> <p>弥生時代のムラを知ることができる文化財として、情報発信が課題。</p>
<p>No. 20 みはらし広場</p>	<p>○主として南東方向の眺望が開けた展望地で、東海道新幹線、特</p>	<p>○みはらし広場として整備中</p> <p>※写真番号⑬</p>		<p>休憩施設としてトイレ・ベン</p>	<p>あやせ目久尻川歴史文化ゾーンの案</p>

展望資源  〔吉岡〕 〔用田橋 200m〕	にドクターイエローの 走行を眺め、撮影の適 地として知られてい る。			チ・水道施 設が設置し ている。	内板が設置されて いる。
-----------------------------------	---	--	--	------------------------	-----------------

カルテ写真⑪



湧き水等を活かした湿生園では、ハナショウブ等の季節の花とカワセミ等の野鳥がみられる  
 (蟹ヶ谷公園)

カルテ写真⑫



弥生時代後期の環濠集落の様子を総合的に学習できる神崎遺跡公園。立体映像や模型等を活用した資料館も付帯されている。本構想の拠点施設（資源）のひとつとして位置づけられる。



カルテ写真⑬



神崎遺跡と一体的な活用が期待されるみはらし広場


●目久尻川 護岸部・側道・隣接公園等の環境カルテ その1

カルテ No 名称 〔所在地〕	位置 および アクセス環境	護岸・側道・公園緑地の整備状況	保全・管理の 現状と課題
<p>No. 21 <u>上流部の河川護岸、側道</u></p>	<p>小園橋～東名高速道路高架下・内藤橋～虚空蔵橋</p>	<p>○目久尻川の両側（一部は右岸のみ）は、小園橋～虚空蔵橋のサイクリングロードとして整備。 ○当該区間は、3面コンクリート張の護岸で形成された典型的な都市河川の景観が形成されている。 ○水中には、鮎などの淡水魚が生息している。</p>	<p>○三面張コンクリート護岸の人工的な景観の緩和 ○サイクリングロードの転落防護柵（鍍）や説明板、花壇等の維持管理水準の向上</p>
<p>No. 22 <u>親水広場</u>  レクリエーション資源・休憩広場</p>	<p>小園橋～新橋右岸  近くに駐車場はない。</p>	<p>○3面張りのコンクリート護岸を切りかいて、階段と広場の組み合わせで整備された広場。 川面近くまで下りられるような空間が形成されている。</p>	
<p>No. 23 <u>日時計広場</u></p>	<p>小園橋～新橋右岸</p>	<p>○No. 22 親水広場の川を挟んで対岸に、日時計をモ</p>	

レクリエーション資源・休憩広場	近くに駐車場はない。	ニュメントとした広場が整備されている。		
No. 24 新橋児童遊園地 レクリエーション資源・休憩広場	新橋右岸 近くに駐車場はない。	○滑り台、鉄棒、ブランコ等の子供向け遊具が設置された児童遊園。		○雑草が生い茂り、遊具の錆が見られる。
No. 25 中流部の河川護岸、側道	虚空蔵橋 ～丸山橋 ～瀬端橋 ～新武者寄橋	○目久尻川の両側（一部は右岸のみ）は、虚空蔵～新武者寄橋のサイクリングロードとして整備。		○サイクリングロードの転落防護柵（錆）や案内サイン、花壇等の向上が必要。

●目久尻川 護岸部・側道・隣接公園等の環境カルテ その2

カルテ No 名称 〔所在地〕	位置 および アクセス環境	護岸・側道・公園緑地の整備状況	保全・管理の 現状と課題	
No. 26 下流部の河川護岸、側道	新武者寄橋 ～吉野橋 ～岡野橋 ～堀之内橋 ～中野橋 ～村野橋 ～道庵橋 ～神崎橋 ～用田橋	○目久尻川の右岸側を中心に、新武者寄橋～用田橋のサイクリングロードとして整備。 ○当該区間の目久尻川の護岸は、緩傾斜の草付き法面の形態となる。 ○上流や中流に比較して、川幅も広がり開放的。 ○目久尻川沿いには、白鷺やカワセミ等の野鳥も飛来し、自然環境は豊かな。	  	○サイクリングロードの転落防護柵（錆）。○廃車置き場等があり周辺環境への配慮が必要。
No. 27 せせらぎ広場	新武者寄橋 右岸	○目久尻川沿いの起伏を活用して整備された公園。		

レクリエーション資源・休憩広場	駐車場は整備されている。	○ソメイヨシノ、サルスベリ、ハナモモ等の四季折々の花が楽しめる。 ○園内に散策路として木道が整備され、これらの花木やせせらぎ周辺の自然環境を身近に観察することができる。 ○近隣公園 面積 1.67ha		○（仮称）目久尻川親水公園で計画
No. 28 堀之内公園  レクリエーション資源・休憩広場	堀之内橋左岸  駐車場は整備されていない。	○街区公園として整備されている。 ○面積は 0.7ha		

### （３）歴史文化ゾーン形成の視点からみた課題

これまでみてきたように目久尻川流域は、多数の歴史文化財、そして自然とあいまった原風景が残る地域となっている。しかし、都市化に伴う住宅開発や産業開発、人々の価値観の多様化、成年者の就職・婚姻等による区域外への流失、住民の高齢化と耕作放棄による遊休農地の増加等の影響により、これまで継承されてきた目久尻川流域の歴史文化財や地域の歴史・伝統文化が、地域活力の低下とともに失われつつある。原風景も変貌が進んでおり、水路・林・農地・生け垣・屋敷森の荒廃も目につく。

そこで今後、「歴史文化ゾーン」の形成を図り、地域の活性化と交流促進に取り組む際の課題について「SWOT分析」を用いて整理する。

※SWOT分析とは＝目標を達成するために意思決定を必要としている組織や個人などにおいて、外部環境や内部環境を強み（Strengths）、弱み（Weaknesses）、機会（Opportunities）、脅威（Threats）の4つのカテゴリーで要因分析し、事業環境変化に対応した資源の最適活用を考える方法。

#### ①強み（Strengths）

- ・往時の姿が偲ばれる形でしっかりと整備が行われている国指定史跡神崎遺跡が存在する。

- ・歴史公園・レクリエーション公園として城山公園が一定程度整備されている。
- ・様々な野鳥が飛び交い、湧水・湿地が多いことから、蟹ヶ谷公園をはじめ自然観察に適した場所に恵まれている。
- ・鮎が泳ぐほど目久尻川の色は澄み、その流域にはのどかな、心癒される風景・田園空間が広がっている。
- ・高齢化・縮小化が進んでいるとはいえ、地域の人々の拠り所となってきた歴史文化財を維持・継承し、また区域外に発信しようと取組みを続ける人々、組織がみられる。

### ②弱み (Weaknesses)

- ・歴史文化資源は多いものの、それら人文資源や原風景を構成する屋敷林・農地・水路等について、財源的な問題、高齢化など地域の人的な問題などから維持管理が十分ではない資源・事物が目立つ。
- ・歴史文化資源の多くは交流利用を促進していく上での魅力に乏しい。
- ・目久尻川流域に親水性のある空間がほとんどなく、また「のどかさ」は感じさせても、「美しさ」を感じさせる場や空間があまりみられない。
- ・野鳥観察や写真撮影等で目久尻川流域を訪れる区域外客はみられるものの、区域内での消費に結びついていない。
- ・目久尻川流域を南北に結ぶ「交流軸」ともいえるサイクリングロードの傷みが目立つ。

### ③機会 (Opportunities)

- ・目久尻川周辺部ではスマートインターチェンジや道の駅の整備が進んでいる。
- ・消費者のニーズとして「史跡観光」「農業体験観光」等の「学び、体験する観光」への関心が高まっている。

### ④脅威 (Threats)

- ・地域社会の状況の変化、都市化に伴う開発や人々の価値観の多様化等の影響により、文化財や地域の歴史、伝統文化などが地域活力の低下とともに失われつつある。
- ・「観光・交流」の振興を通じた地域の活性化へ向けた取組みを行う地域は数多く、そうした面では「地域間競争」が激しくなっている。

以上の事項をまとめると、あやせ目久尻川歴史文化ゾーン形成に向けた主要な課題として次の5点があげられる。



- ・地域の文化財や歴史・伝統文化などが、地域活力の低下とともに失われつつあることから地域住民および歴史文化ゾーンの支援者による歴史や伝統文化などの維持・継承、保存を次世代につなげていく仕組みづくり
- ・老朽化等により次第にその価値が損なわれている文化財やこれまで整備されてきた目久尻川流域の歴史文化空間を地域活性化に向け活用するための条件・環境整備
- ・目久尻川流域にみられる原風景の魅力をさらに引き出し、イメージアップを図るための修景と新たな美観形成
- ・区域外から訪れる多様な人々による消費機会の場づくりや消費促進に関わる仕掛けの工夫
- ・目久尻川流域の史跡や公園など「点」と「点」を結びつけた流域回遊ルートの整備および市内各所と結ぶ回遊の仕掛けの工夫

## 6. 構想の基本方針と歴史文化ゾーンの基本コンセプト

### (1) 構想の基本方針

構想を策定するに当たって、以下の5点を基本方針とする。

- ・極力、現況を活かす。ただし、地域イメージ向上のため必要とされる修景や一定程度の空間整備については、これらを盛り込む。
- ・目久尻川流域の各種歴史文化資源について、「多様な交流」を促進するという観点からその磨き上げ（ハード面の整備やソフト面の演出）や資源間の結びつけを重視する。
- ・地域住民や歴史文化ゾーンの支援者による、地域の歴史や伝統文化に関する理解を深め、その継承および活用に向けた主体形成と、そのための条件・環境整備を重視する。
- ・目久尻川流域および周辺の農業および商業の振興との結びつけを図り、「多様な交流」に伴って「市内消費」を期するものとする。
- ・本市内において、近々整備されるスマートインターチェンジや道の駅等、市外からの交通アクセスの改善や市内における多様な交流による「魅力創出」に関わる重要プロジェクトについて、それらとの連動に十分配慮したものとする。

## (2) 歴史文化ゾーンの基本コンセプト

構想において具現化を目指すあやせ目久尻川歴史文化ゾーンの基本コンセプト(目指す「姿」)を次のように定める。

### <地域コミュニティ活性化の視点>

- 住民自身が地域の歴史文化の魅力再認識し、愛しみ、地域コミュニティの魅力を育み、誇りを持つことに資するゾーンとする。

### <地域内外との交流促進の視点>

- 地域の歴史文化および自然風景が融合した里地・里山環境の下、多様な人々が訪れ、学びに癒やしにリフレッシュに、心豊かに時間を過ごすことができるゾーンとする。

### <地域および市全体の産業経済の活性化の視点>

- 市外から訪れる多くの人々による様々な消費を通して、市の産業経済の活性化に資するゾーンとする。

## 7. 歴史文化ゾーン構想計画

### (1) 段階計画

本構想は大きく「①歴史文化ゾーンとしての基盤形成期」「②歴史文化ゾーンとしてのイメージアップと魅力発信期」「③歴史文化ゾーンとしての魅力確立期」といった3期に分け、段階を踏みながら着実に各種施策の取組みを定めることとする。

#### ① 歴史文化ゾーン形成に向けた基盤形成期（令和2年度～4年度）

目久尻川流域の歴史文化資源の価値および魅力を住民自らが再認識し、「郷土への強い思い（シビックプライド）」を醸成することを目指す。

そのためにも将来へ向けて地域への誇りと愛着心を育む「核」となる「重点的プロジェクト」（ソフト・ハード）の検討を進める。

#### ② 歴史文化ゾーンとしてのイメージアップと魅力発信期（令和5年度～8年度）

地域住民および歴史文化ゾーンの支援者等の主体的な関わりを背景に、歴史文化資源の維持・継承と活用体制を整え、歴史文化ゾーンとしてのイメージアップに取り組む。

これらにより区域外へ歴史文化ゾーンとしての魅力を多面的に発信していく。

### ③ 歴史文化ゾーンの魅力の確立期（令和9年度～11年度）

地域住民が多様な形で交流に参画することを通して地域が活性化し、市内外から多様な、そして数多くの人々が史跡・文化財や原風景を楽しみながら憩う、また学ぶことを目的に訪れる交流空間を確立する。

さらに道の駅をはじめ市内の観光レクリエーションスポットとあわせて来訪者が回遊する流れを生み出す。

#### （2）期別の方向性と主要施策

「歴史文化ゾーンとしての基盤形成期」「歴史文化ゾーンとしてのイメージアップと魅力発信期」「歴史文化ゾーンとしての魅力確立期」、それぞれの期別に方向性と取組む主要施策について示す。

#### ① 歴史文化ゾーン形成に向けた基盤形成期（令和2年度～4年度）

【方向性1】「郷土への強い思い（シビックプライド）」と取組み主体意識の醸成

##### ○地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体の実情把握

- ・地域の歴史文化の保存・活用の担い手となることが期待される地域組織・団体の活動状況や抱えている課題等を掘り下げる。

※例示：把握手法としての「文化財等の調査」の実施 等

##### ○地域の歴史文化の保存・活用の価値や魅力、住民による「気づき」「相互研鑽」の場づくり、そして「案内人」の育成

- ・地域の歴史文化保存・活用に向けた取組みを促進する上で、それらの価値や魅力、住民による「気づき」「相互研鑽」の場づくりが必要であり、そうした「場」を設ける。
- ・地域の歴史文化資源等を保存・継承するためには、担い手の育成は非常に重要であることから、歴史文化ゾーン構想を進める中心人物となる「地域の案内人」の育成を推進する。

※例示：協働（住民/市民・企業/団体・行政の三者が協力して身近な環境づくりを進める取組み）で、地域の歴史文化資源の価値や生成の背景等を学ぶ講座の開講、地域住民・来訪者による目久尻川流域観察会の開催、ガイドボランティア育成講座の開講 等

##### ○地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体間の情報共有と連携の場づくり

・地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体間の情報共有と連携の場を設け、継続的に開催していく。

※例示：目久尻川流域の歴史文化等に関わっている諸組織・団体と行政との連携による「情報共有」の場の設定 等

#### ○地域の歴史文化のさらなる掘り起こし

・上記「①」～「③」の取組みとも関連づけながら地域の歴史文化資源のさらなる掘り起こしを進める。

※例示：目久尻川流域「宝物」写真コンテスト、絵画コンテストの実施 等

#### ○地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体への支援方法の検討

・地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体や旧来から連綿と地域の中で伝わっている「講中」や「組合」など、組織・団体の活動への支援方法を検討する。

※例示：上記「①」～「③」の取組みとも関連づけて実施 等

### 【方向性2】「郷土への強い思い（シビックプライド）」の醸成の「核」となる「重点的プロジェクト」の検討

#### ○地域の歴史文化資源を活用した「交流拠点」形成に関する検討

・中長期的にみて、「住民が誇りを持ち、住んで良かった」と思うことができるような地域こそが、区域外から訪ねてみたくなる地域であるという、地域づくりの「核」ともなり得る「交流拠点」形成に向けた検討を行う。

・目久尻川流域に広がる歴史文化資源を、その原風景や生活文化資源等とともに生かし、歴史文化資源を核とした地域の誇りづくり、そして地域の活性化と交流促進に資する「拠点」のあり方について検討を行う。

※拠点候補エリア

上流域：小園橋周辺、中流域：城山公園周辺

下流域：神崎遺跡および蟹ヶ谷公園周辺

※例示：目久尻川流域周辺の特色ある公園の魅力強化方策の検討 等  
例えば、「早川城跡の中世の山城の魅力」の効果的な見せ方、伝え方、観光消費促進の工夫等

#### ○道の駅、スマートインターチェンジ等周辺施設と結ぶ回遊ネットワーク形成に関する検討

- ・整備が進められている道の駅、綾瀬スマートIC等周辺施設と目久尻川流域（上流域、中流域、下流域）と結ぶ、来訪者による回遊促進、回遊ネットワーク形成に資する方策の検討を行う。

※例示：サイクリングロードネットワーク形成とサイクリングロードの整備方策、レンタサイクルステーションのあり方 等

### ○多様な人々が集い、楽しむためのインフラ整備

- ・「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン」の意味と魅力要素を紹介する案内看板をはじめ、区域内外から多様な人々が集うときに円滑に楽しく「歴史文化ゾーン」で時間を過ごすことができるように「移動」「観賞・鑑賞」「休憩」のためのインフラを整備していく。

※例示：歴史文化ゾーン案内看板の設置、歴史文化財の説明表示、野鳥や魚等の案内表示、トイレの案内表示 等

## ●「歴史文化ゾーン案内看板」のイメージ

**目久尻川文化ゾーン 歴史と自然に触れて未来を発見！**

目久尻川は、アユやカワセミがすむ自然豊かな小河川です。  
5キロ程の流域では旧石器時代から近世まで、約4万年の人間の活動の痕跡が凝縮された全国的にも希少な歴史ゾーンです。さらに、満天に輝く星を観察したり、東海道新幹線ビューポイントもあり、運がよければドクターイエローに遭遇できるかもしれません。



★=所在地 P=駐車場 WC=トイレ  
【散策モデルコース】サイクリングの場合は、約1/3の時間を目安にしてください  
■コースA (約40分) ①→②→③→④  
■コースB (約120分) ①→②→③→④→⑤

- 地図はもっと簡略化したイラストにします。
- 下部のモデルコースが色分けでわかるようにします
- 複数箇所に設置する場合は、現在地がわかるようなサイン★を地図内に入れます
- 駐車場やトイレのサイン、モデルコースも入れるか？検討。

<p>①神崎遺跡 <b>学ぶ・体験する</b></p>  <p>弥生時代の村の様子や住居を見学できるほか、隣接する神崎遺跡資料館ではIR体験もできます。</p>	<p>①神崎遺跡 <b>学ぶ・体験する</b></p> 
<p>②城山公園 <b>遊ぶ</b></p> 	<p>②城山公園 <b>遊ぶ</b></p> 
<p>③神崎遺跡 <b>見る・体験する</b></p> 	<p>③神崎遺跡 <b>見る・体験する</b></p> 
<p>④・見晴台 <b>見る・遊ぶ</b></p> 	<p>④・見晴台 <b>見る・遊ぶ</b></p> 
<p>⑤城山公園 <b>遊ぶ・体験する</b></p>  <p>【追加情報検討】 ■綾瀬市のQRをいれてWEBなどと連動させるか？ ■タクシー会社やバス会社の電話番号を入れるか？</p>	

## ② 歴史文化ゾーンとしてのイメージアップと魅力発信期（令和5年度～8年度）

【方向性1】歴史文化の保存・維持・継承と活用体制の整備と歴史文化ゾーンとしてのイメージアップ

○地域の歴史文化の保存・継承・活用に関わる様々な仕組みづくり

- ・地域の諸組織・団体、学校教育関係者等と連携・協働しながら、地域の歴史文化資源等の保存・継承・活用に関わる様々な仕組みをつくる。

※例示：目久尻川・サイクリングロード・公園等を対象とするアダプト制度（公共施設里親制度）の設定の工夫、「御朱印帳」も参考にした、「あやせ目久尻川歴史文化財カード」（仮称）の作成・配布、学校教育における総合的学習等との連携 等

※アダプト制度＝行政と市民が2人3脚で行うまちづくりの制度の1つです。行政と市民で協定を結び、行政が整備した公共施設を市民がボランティアで管理します。

●参照事例 文化遺産カード-三重県が作成している文化財（トレーディング）カード

- 一般社団法人三重県建築士会が、文化庁の「文化芸術振興補助金（文化遺産総合活用活性化事業）」の補助を受けて、文化財建造物のトレーディングカードを作成
- このカードは文化財訪問を誘導し、県の文化財建造物の紹介と文化財を身近に理解してもらうことを目的に見学・来訪者に直接渡している。



出典：  
<https://www.isenp.co.jp/2019/09/14/36272/>  
<http://mie-kenchikushikai.or.jp/other-business/cultural-heritage-comprehensive-utilization-activation/>

○地域の歴史文化の保存とイメージアップ

- ・地域の歴史文化の保存を図りながら、それぞれの見せ方や演出を工夫し、魅力の強化、イメージアップに努める。

※例示：目久尻川流域に広がる原風景の保全と修景ー

「綾瀬市景観計画」の推進と撮影スポットの確保、案内表示 等

遺跡や社寺等の周辺環境美化とユニークイベントの企画開催（現在催しているイベントを含む。月見、花祭り、写経、座禅、寺カフェ、神社カフェ等）説話等を活用した体験の機会づくり 等



神崎遺跡でお月見を



日本武尊腰掛石での体験を検討



長泉寺における落語会開催の案内



清冽な清水川



### ○河岸部の修景と景観を楽しむことができる空間の整備

- ・目久尻川河岸部の修景とともに、親水性も持たせた景観を楽しむことができる空間の整備に努める。
- ・「コミュニティガーデン」（住民が管理する公共空間—公園・農園等）化を図る。

※例示：護岸部の修景、花による景観形成、野鳥や魚の生態を觀賞しつつ撮影を楽しむことができる親水園地の整備 等



## ●参照事例－護岸修景（目黒川）

	<p>⑤ 目黒川の護岸緑化（東京都）</p> <p>○目黒川の護岸は大部分が直立のコンクリート等のハードな素材であるため、護岸上部に植栽部分を設け下垂型のつる植物によって護岸緑化を行っている。加えて、護岸沿いの歩道部分には、サクラなどの樹木を並木状に植栽することにより緑化効果をあげている。</p>
	<p>⑥ 勝島運河の護岸緑化（東京都）</p> <p>○東京都臨海部の運河沿いには、遊歩道や植栽帯を設け、緑化を図っていると共に、護岸の一部にも植栽帯を設け、草本など護岸に影響のない範囲で緑化を図っている。</p>

出典：国土交通省資料

[http://www.mlit.go.jp/crd/daisei/mizumidori/103\\_river-](http://www.mlit.go.jp/crd/daisei/mizumidori/103_river-)

[green.pdf#search=%27%E3%83%84%E3%82%BF%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B%E8%AD%B7%E5%B2%B8%E7%B7%91%E5%8C%96%27](http://www.mlit.go.jp/crd/daisei/mizumidori/103_river-green.pdf#search=%27%E3%83%84%E3%82%BF%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B%E8%AD%B7%E5%B2%B8%E7%B7%91%E5%8C%96%27)

## －芝桜の植栽 伊勢原市渋田河畔



上谷地区を流れる渋田川の河畔が芝桜で埋めつくされます。

水辺から4mほどの斜面いっぱいに、赤、白、ピンクの芝桜が咲き、花の絨毯のように美しい眺めに。花はもちろん、川面に映るもう一面の花と生け垣の緑のコントラストがより一層この景観を引き立てています。

毎年、地域の有志が協力して草取りや川の清掃に取り組み、皆様に美しい春の景色をお届けしています。

花の季節は、4月中旬頃。

「かながわの花の名所100選」の一つに選ばれています。

出典：（一社）伊勢原市観光協会  
公式 HP

<http://www.isehara->

[kanko.com/publics/index/64/](http://www.isehara-kanko.com/publics/index/64/)

## 一長野県佐久市のコスモス街道

出典：佐久市公式HP

<https://www.city.saku.nagano.jp/smph/kanko/spot/nature/kosumosukaido.html>



佐久市と群馬県下仁田町を結ぶ国道254号線「内山峡」にあり、県境の内山トンネルを抜けた「黒田地区」から「松井地区」までの全長9キロの沿線が「コスモス街道」です。

内山地区の住民が心を込めて丹精に育て上げた4万株のコスモスは、例年9月上旬から咲き始め、見頃となる9月中旬にはパステルカラーのフラワーベルトが沿道を美しく染めます。

開花の時期にあわせておこなわれる「佐久高原コスモスまつり」では、地元老人クラブの皆さんによる湯茶接待所が設置され、全国から訪れる観光客にあたたかいおもてなしがされます。

また、コスモス街道から車で20分程の荒船山の麓、内山牧場キャンプ場には、3万平方メートルの「大コスモス園」に約10万株ものコスモスが植えられています。

コスモス街道に比べては見頃が若干遅く9月中旬から10月上旬となり、佐久高原に見渡すばかりに咲き誇るコスモスは圧巻です。

## ○目久尻川流域および流域と道の駅・スマートインターチェンジ等周辺施設とを結ぶ回遊ネットワーク手段の整備

- ・目久尻川流域を南北に結び、同時に流域と道の駅・スマートインターチェンジ等周辺施設とを結ぶ回遊ネットワーク手段を整備する。

※例示：サイクリングロードネットワークの整備、レンタサイクルステーションの設置 等

## ●参照事例一長野県飯山市アクティビティセンター・レンタサイクルステーション



出典：長野県飯山市アクティビティセンター公式HP

<https://www.shinetsu-activity.jp/cycling/station/>



## 【方向性2】地域の農業や知恵を生かした6次産業おこし

### ○旧来からの農産品を生かした、新たな特産品・名産品の開発と販売促進

- ・農地を主とする原風景を守り、維持していくには「農業が元気に営まれていること」が必要であることから、旧来から域内で産する農産品を生かして、地域の中で開設する直売所や「道の駅」等で販売できる「菜速 あやせコーン」など特産品・名産品の開発に取り組む。

※例示：高座豚、トウモロコシ、ブロッコリー、トマト等の活用の工夫  
調理加工教室の開講、品評会の開催 等

## ●参照事例 地元高校生が特産品の枝豆を生かして考案した「えだまメンチ」

沼田市はおいしい枝豆の産地です。平成23年、地元にある利根実業高等学校が、特産品である枝豆をメンチカツに入れた『えだまメンチ』を“沼田の新名物”として考案・開発しました。そこで、多くのお店に安心して『えだまメンチ』を取り扱っていただけるよう、沼田市では平成25年4月12日付けで商標登録を取得しました。

現在、『えだまメンチ』のおいしさを、そして素材である沼田の枝豆のおいしさをたくさんの人に知っていただきお越しいただけるよう、沼田の新名物『えだまメンチ』の取扱店を募集しています。ぜひ、多くの店舗での取り扱いをよろしくお願いたします。

■ [えだまメンチ特設ホームページ（沼田市役所 観光交流課）](#)（外部リンク） □

出典：群馬県沼田市公式 HP

<http://www.city.numata.gunma.jp/kan-ko/shopping/1001847.html>

### 『えだまメンチ』5つの基準

1. 【沼田の新名物】の文言を掲げること
2. 利根沼田産の枝豆を使用すること  
(但し、供給体制が整うまでの期間は免除とする)
3. 『えだまメンチ』ののぼり旗を店先に立てること。(2枚贈呈)
4. 市や利根実業高等学校からの調査やアンケート依頼などに協力すること
5. その他、味付けや形態、価格については、各店舗に一任する



## 【方向性3】区域外への多面的な魅力の促進

### ○交流促進へ向けた各種の情報発信

- ・【方向性1および2】の取り組みにおいて形成される魅力ある歴史文化資源等、そして「歴史文化ゾーン形成に向けた基盤形成期」に、そのあり方について検討し、「歴史文化ゾーンとしてのイメージアップと魅力促進期」に姿を現してくることが期待される「地域の歴史文化資源を活用した交流拠点」や「地産地消促進の場」について区域外への積極的な情報の発信を行う。

※例示：各種ICTツール・紙媒体を活用した情報発信とPR、SNSを活用した情報発信、「ロケ」誘致と結びつけた各種メディアへの情報提供等



### ③ 歴史文化ゾーンの魅力の確立期（令和9年度～11年度）

#### 【方向性1】目久尻川流域の回遊利用の促進に向けた仕組みづくり

○ストーリー性・テーマ性を持たせた回遊促進の仕掛けの工夫

※例示：目久尻川での意外な出会い（野鳥・ドクターイエロー等）、  
パワースポットめぐり、秋の七草めぐり、七福神めぐり、  
目久尻川八景、目久尻川名所三十選の選定 等

#### ●目久尻川流域での意外な出会い（ファミリー向け）



野鳥



ドクターイエロー（神崎遺跡公園から）

#### ●パワースポット



#### ●参照事例 七草寺と七草寺めぐり（埼玉県長瀬町）

花を楽しむ

長瀬町内の7つのお寺に、それぞれ「秋の七草」が一種類ずつ植えられています。  
爽やかな秋風とともに、秋の七草寺めぐりをお楽しみください。



ハイキング(徒歩)でまわる



出典：埼玉県長瀬町観光協会公式 HP

<https://www.nagatoro.gr.jp/nanakusa>

2019/

## 【方向性2】目久尻川流域の回遊商品の企画・実施

### ○「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン訪ね歩き」ツアーの企画・催行

- ・春夏秋冬に、それぞれ花の時期、野鳥の飛来が多い時期、鮎の遊泳が見られる時期等々に「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン」を訪ね歩くガイド付きツアーを企画・催行する。
- ・その際、上記の「ストーリー性」「テーマ性」に留意する。

※例示：モニターツアー、ウォーキングツアー、サイクリングツアー、文化財カードラリー 等

## ●参照事例 みーつびわ湖大津ツアー

### みーつびわ湖大津・夏秋のツアー



みーつびわ湖・大津とは、滋賀県大津市全体をフィールドに大津の歴史・文化・風土・祭事・自然・びわ湖などを体感できる観光プログラム（体験・まちあるき）を企画・開催し、より多くの皆様に大津の魅力をもっと伝えていこう！という観光プロジェクトです。かつて日本の首都であった滋賀県大津市は、びわ湖の南西に位置し、門前町・港町・宿場町の3つの側面を持つまちとして栄え、大津の歴史・文化・活力は多くの人々の出逢いから生まれました。

タイトルの『みーつ』には、  
「多くの人が大津に出逢う」  
「大津の人々が大津に出逢う」  
「若い人々と未来に出逢う」

という三つの出逢いの意味を込めています。

8つのテーマに分けた通りすぐりの体験・まちあるきプログラムをご用意しております。ぜひ、みーつびわ湖・大津のプログラムをあなたの観光・旅プランのひとつとして利用していただき、多くの皆様に素敵な出逢いをお届けできればと思っております

#### ツアーの一覧（自転車散歩編）

- [【土曜日開催】びわ湖大津の歴史・文化・グルメを楽しむ散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [【水曜日開催】びわ湖大津の歴史・文化・グルメを楽しむ散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [美味しいパン屋さん＆スイーツ屋さんをめぐるグルメ散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [宿場町・大津を語り部とめぐるディープな宿場町散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [旧東海道と藤所城下町をめぐる歴史街道散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [大津を愛した芭蕉の足跡を俳句とともに辿る俳句散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [大津の伝承・伝説の地を語り部とめぐる時間旅行散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [かるたの聖地・近江神宮とびわ湖大津京をめぐる古代ロマン散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [琵琶湖疏水をめぐる近代遺産散走（自転車散歩） 琵琶湖～山科疏水（3h）](#)
- [琵琶湖疏水をめぐる近代遺産散走（自転車散歩） 琵琶湖～南禅寺水路園（7h）](#)
- [文化財の宝庫・三井寺をめぐる文化財散走（自転車散歩）（3h）](#)
- [石積みの門前町・坂本を語り部とめぐるまちめぐり散走（自転車散歩）（3h）](#)

出典：「びわポタ（びわ湖ポタリング）・サイクリング」サイト

<https://biwakootsu-cycletour.jimdofree.com/>

## 8. 構想の推進体制

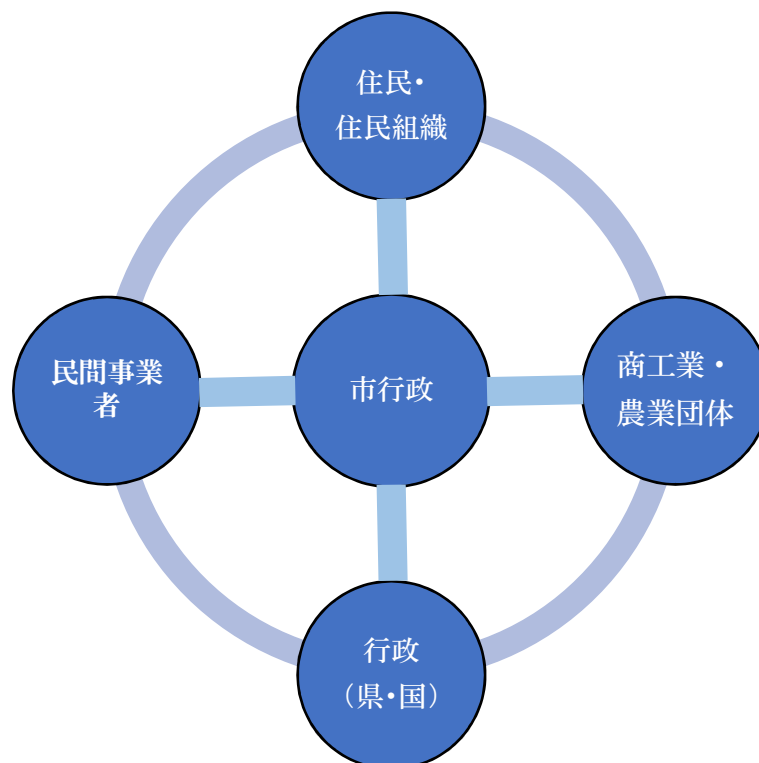
あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想で示す諸施策の検討および実施に当たっては、関係地域住民組織や歴史文化関連組織・自然保護活用関連組織、企業、大学、市内高校・小中学校等との協働・連携により取り組んでいく。

また、構想で示す諸施策の実施に当たっては、関係地域住民・地域住民組織や歴史文化関連組織・自然保護活用関連組織が企画・管理・運営を担うべき施策も多く、それらについては市行政が適宜調整を図りながら支援策を講じていく。

これら関係主体による構想協議の場として、本年度設けた「目久尻川文化ゾーン構想推進会議」の組織構成も見直し、さらに各関係主体の連携・協働を図る場として位置づけ、発展させていくこととする。

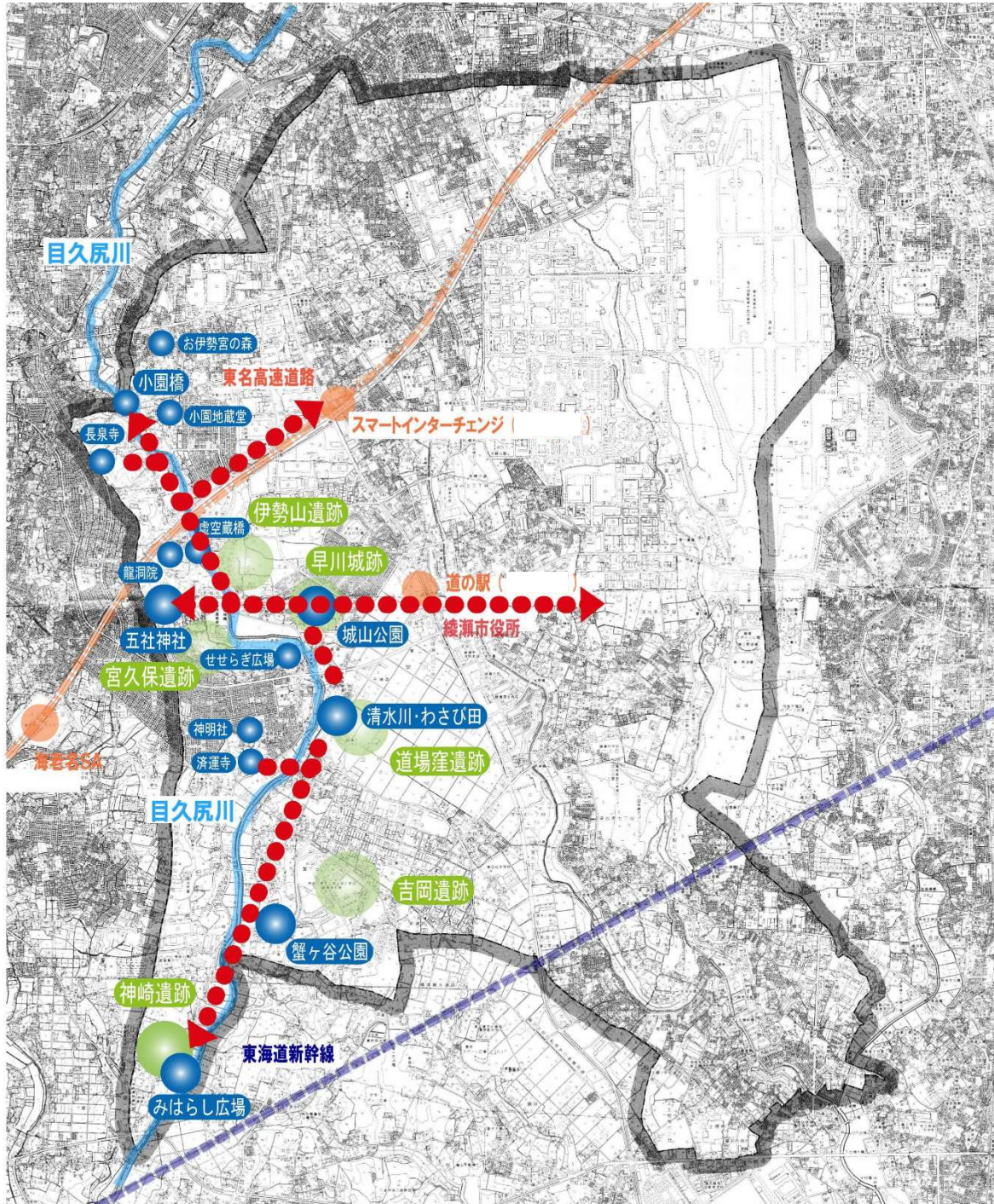
なお、構想の諸施策については、市行政内部においても関係する施策も多いことから関係各課との連絡・調整について適宜行っていく。

さらに、構想期間終了後も「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン」を引き続き推進することとする。





## 9. 構想の全体図



0 200 500 1000m



サイクリングロード、遊歩道コース  
等を活用し、物理的・情報的に連携



## 10. 期別の方向性と主要施策

### ■期別方向性と主要施策一覧

段階	方向性	主要施策
① 基盤形成期 (令和2年度～4年度)	・「郷土への強い思い(シビックプライド)」と取組み主体意識の醸成	○地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体の実情把握
		○地域の歴史文化の保存・活用の価値や魅力、住民による「気づき」「相互研鑽」の場づくり、そして「案内人」の育成
		○地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体間の情報共有と連携の場づくり
		○地域の歴史文化のさらなる掘り起こし
		○地域の歴史文化の保存・活用に関わる地域組織・団体への支援方法の検討
	・「郷土への強い思い(シビックプライド)」の醸成の「核」となる「重点的プロジェクト」の検討	○地域の歴史文化資源を活用した「交流拠点」形成に関する検討
② イメージアップと魅力発信期 (令和5年度～8年度)	・歴史文化の保存・維持・継承と活用体制の整備と歴史文化ゾーンとしてのイメージアップ	○地域の歴史文化の保存・継承・活用に関わる様々な仕組みづくり
		○地域の歴史文化の保存とイメージアップ
		○河岸部の修景と景観を楽しむことができる空間の整備
		○目久尻川流域および流域と道の駅・スマートインターチェンジ等周辺施設とを結ぶ回遊ネットワーク手段の整備
	・地域の農業や知恵を生かした6次産業おこし	○旧来からの農産品を生かした、新たな特産品・名産品の開発と販売促進
	・区域外への多面的な魅力の促進	○交流促進へ向けた各種の情報発信
③ 魅力の確立期 (令和9年～11年度)	・目久尻川流域の回遊利用の促進に向けた仕組みづくり	○ストーリー性・テーマ性を持たせた回遊促進の仕掛けの工夫
	・目久尻川流域の回遊商品の企画・実施	○「あやせ目久尻川歴史文化ゾーン訪ね歩き」ツアーの企画・催行

## 11. あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想策定経過

	年 月 日	会 議 名 等
1	令和元年 10月21日	目久尻川文化ゾーン構想推進会議（第1回） ・目久尻川文化ゾーン構想について
2	11月13日	県河川管理員（県厚木土木事務所東部センター） 文化ゾーン構想素案説明・意見照会
3	11月・12月	庁内関係各課文化ゾーン構想素案意見照会 （商業観光課・都市計画課・みどり公園課・道路管理課）
4	11月	目久尻川文化ゾーン構想推進会議（第2回） ・目久尻川文化ゾーン構想素案の意見照会
5	11月19日	綾瀬西高校 文化ゾーン構想素案説明・意見照会
6	11月22日	社会教育委員会 文化ゾーン構想素案説明・意見照会
7	12月7日	小園自治会役員 文化ゾーン構想素案説明・意見照会
8	12月7日	早川自治会役員 文化ゾーン構想素案説明・意見照会
9	12月7日	吉岡自治会役員 文化ゾーン構想素案説明・意見照会
10	12月7日	龍洞院役員 文化ゾーン構想素案説明・意見照会
11	12月15日	済運寺役員 文化ゾーン構想素案説明・意見照会
12	12月17日	NPO法人ふるさと環境市民（意見照会） 目久尻川ふるさとネットワークあやせ（意見照会）
13	12月19日	教育委員会（協議会） ・文化ゾーン構想素案説明・意見照会
14	12月20日	市文化財保護委員会 ・文化ゾーン構想素案説明・意見照会
15	令和2年 1月	庁内関係各課文化ゾーン構想案照会 （商業観光課・都市計画課・みどり公園課・道路管理課）
16	1月23日	教育委員会（協議会） ・文化ゾーン構想案説明・意見照会
17	2月10日	社会教育委員会 ・文化ゾーン構想について
18	2月13日	教育委員会（会議） ・文化ゾーン構想の決定について
19	2月19日	目久尻川文化ゾーン構想推進会議（第3回） ・文化ゾーン構想について

## 12. 目久尻川文化ゾーン構想推進会議委員

氏 名	役 職
羽田 耕治	横浜商科大学名誉教授
澁谷 敏夫	綾瀬市社会教育委員議長
小川 久治	綾瀬市文化財保護委員会副会長
小宮 量基	綾瀬市民俗芸能保存協会会長
栗原 拓児	五社神社宮司
斉藤 武夫	小園地藏堂保存会会長
駒井 利明	駒井不動関係者
井上 洋一	生涯学習課長